



はくさんコミュニティ・スクールだより



ふれあい班活動



平成 30 年 6 月 28 日発行 第 2 号



6 月 1 2 日に実施予定だった校区ふれあい遠足が、雨天のため残念ながら中止となりました。そのため、4 時間目に各班でふれあい活動を行いました。6 年生が進行役を務め、サポーターのみなさんとハンカチ落とし、いす取りゲームなどのレクリエーションをしました。

体育館で活動した班は、津柳地区の篠原さんと北岡さんに竹細工について教わりました。この日のために用意してくださった今年の干支犬に、児童は思い思いの絵を描きました。「犬の頭が回るが、どのように作っているのか。」「小さな部品はどうやって作るのか。」「なぜ竹細工を始めようと思ったのか。」「玄関に飾りたい。」など、子どもたちから次々と質問や感想が出ました。

サポーターのみなさんを交えて楽しく交流した後は、お弁当の時間でした。「自分でご飯を炊いておにぎりをにぎったよ。」「おいしそう。」など、お弁当を見せ合いながら、にこにこ笑顔で食事を取ることができました。





すくすく健康部会

泥リンピック



6月16日に第4回泥リンピックが行われました。すくすく健康部会、おやじ・おふくろの会が企画運営し、50名以上の児童が参加しました。学校運営協議会長の鴨井さんより「白山校区は、お米やいろいろな野菜作りが盛んです。農業をする（自然と向き合う）ことで健康寿命が伸びるという報告もニュースになっていました。コミュニティ・スクールでは、これからも、子どもや住民が健康で長生きするための活動を意識して行っていきたいと思います。」とあいさつがありました。さて、初めは足を入れるのを怖がっていた子どもたちも、どろんこ獅子のしっぽとりやどろんこフラッグなどのゲームをして大はしゃぎでした。おやじ・おふくろの会や中学生のパフォーマンスで大いに盛り上がり、大人も子どももどろんこになって楽しみました。見学のみなさんも、子どもの生き生きとした様子を見て微笑んでいました。



お米を作ろう大作戦



6月19日に2年生と4年生が田植えをしました。鏡原さん、藤本さん、寺尾さん、白井さん、西丸さん、眞鍋さんに教わりました。2年生は、ぬかるみに足をとられながらも、東西に張られたロープの目印に沿って丁寧に苗を植えていきました。初めての子どももサポーターのみなさんにコツを教わり、「だんだん上手になってきた。」と褒めてもらいながら、田植えを体験することができました。4年生は、田植え定木を使って昔ながらの田植えに挑戦しました。子どもたちは、「2年生の時を思い出した。定木は何と便利なのだろう。」と大いに盛り上がっていました。今後、秋の収穫を楽しみにしながら観察日記をつけて、稲の生長を見守ります。



足を入れたときは、温かいところやめたいところがありません。ようきのおかげでだんだん慣れて、楽しくできました。植えるときに、どろがなくなえが立たなかったときに、サポーターさんにどろを持ってきたり立ちやすくなるよと教えてもらいました。やってみるとすぐできるようになりました。サポーターさんのおかげで、皆さんの体が健康で、お米が美味しくなるように頑張ります。

「根っこを引く感じが、なえを植えるときは初めてだった。道具を使わないでなえを植えた2年生のときより、かんたんに植えられました。サポーターさんが、三本ぐらい取ってね。」とアドバイスしてくれました。サポーターさんの言葉、くれたことをしてみるとき、いになえを植えられたわうれしくなりました。サポーターさんのみなさん、ありがとうございました。ごさ、ました。いい体験ができました。